

もいや英明



ニュース 第13号

守家英明 令和6年6月議会報告

地域のために働きます！！

丸亀市議会6月定例会 一般質問と答弁

1. 熱中症対策について

質問

- ① 昨年度の熱中症による被害状況は？
本市及び近隣市町における熱中症による被害はどのような状況なのか？
- ② 「クーリングシェルター」指定に関する考えは？
宇多津町が県内トップをきって指定を開始したが、本市の状況および今後の考えは？また、県内他市町の状況は？
- ③ 緊急対応マニュアルの整備は？
熱中症に備えた「緊急対応マニュアル」の整備はできているのか？
- ④ 「熱中症特別警戒アラート」発生時のガイドラインの作成は？
国の法律改正に伴う学校現場における熱中症対策ガイドラインの作成が求められているが？

答 弁(産業文化部長他)

- ① 過去5年間、毎年増加しており昨年度は101件発生している。特に7～8月は全体の7割を占め、2歳から98歳まで幅広く発生しており、特に65歳以上の高齢者が56件と最も多かった。
- ② 現在のところ当該指定施設はないが、市として有効性を認識しており、まず公共施設から指定を急いでいきたい。
- ③ 市独自のマニュアルは作成していないが、環境省が作成したリーフレット等を活用していきたい。
- ④ 文部科学省からの通知を本市ガイドラインとして遵守し、本市教育委員会の指針をまとめた



令和6年度 6月定例会議案

第59号 令和6年度丸亀市一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ12億8,203万3,000円を追加し、予算総額は704億7,503万となります。主な内容は、つぎのとおりです。

- ① 家具転倒防止設置補助金・・・250万円 増額
- ② 物価高騰対策生活支援緊急給付金事業・・・9億7,515万2,000円増額
- ③ 新規非課税世帯等給付事業・・・2億7,844万1,000円増額
- ④ 耐震改修補助事業・・・2,198万円 増額
- ⑤ 非課税世帯住宅用火災警報器設置事業・・・396万円増額

主な財源としては、国庫支出金、基金繰入金及び前年度繰越金を措置します。

第60号 丸亀市下水道条例の一部改正について

第61号 丸亀市付属機関設置条例の一部改正について

医療的ケア児の受入れに関する方針、ガイドラインの改定等、医療的ケアの実施に関する全般的な内容について協議する、丸亀市医療的ケア運営協議会が設置され、医療的ケア児の受入れが推進されます。

第62号 丸亀市少年育成センター条例の一部改正について

丸亀市少年育成センター事務所がひまわりセンターF3から市庁舎F3へを移転します。

第63号 工事請負契約の締結について(飯山北コミュニティセンター)

第64号 工事請負契約の締結について(丸亀城帯曲輪石垣復旧工事)

健康保険証の廃止について

現在、様々な分野でデジタル化が進行しています。この様な中、健康保険証についてもマイナンバーカードに健康保険証機能を組み込まれ、今年、12月2日から現行の健康保険証が廃止されます。しかし、マイナンバーカード普及率は、昨年12月現在で55%という状況です。デジタル化に伴うマイナ保険証への移行はやむを得ないと思いますが、もう少し余裕を持った対応が必要だと考えます。

発行人 守家英明

〒763-0092 丸亀市川西町南858番地3

TEL 0877-28-5747 090-8692-0540

一般質問と答弁

2. 教育現場での諸問題について

質問

- ①小学生児童の登下校時の荷物の軽量化について？
教科書等の増量に伴いランドセルも大きく重量化している。また、重たい水筒も通常化しており、低学年児童においては大きな負担になっている。児童生徒の携行品に係る配慮を考えてほしいが？
- ②児童・生徒の制服の見直しは？
制服の自由化・選択制については、これまで本議会においても度々、議論がかわされてきたが、現在の取組み状況は？

答弁(教育長)

- ①携行品の精査を行い、より負担が軽減され安全な登下校が行われるよう努めたい。また、重たい水筒に代わるウォーターサーバーの校内設置については、各家庭における準備を基本とし、不足分について各校において柔軟な対応を行いたい。
- ②市内中学校においては、今年度を目途にデザインを決定し、令和7年度は保護者への周知、販売店との連携、新入学者の採寸・購入等を行う流れとなり、最短でも令和8年度からの変更となる見通し。なお、小学生の見直しは現在、予定はなし。

3. 災害対策について

質問

- ①湧水用井戸の災害時活用について
東かがわ市において、個人や企業の井戸水を災害時等に活用する制度を今年度から開始したが、本市における対応は？また、県内他市町における状況は？
- ②避難所以外の避難者に対する支援について
避難所という「場所」ではなく避難者という「人」に対する支援に着目され、在宅避難者や車中泊者などの支援も防災計画に位置付けられることが求められているが、本市としての考えは？

答弁(市長)

- ①本市における湧水用井戸の登録は、現在106カ所あり、災害時の生活水確保の手段として有効活用を見込んでいる。県内他市町における登録制度は、東かがわ市以外まだ実施されていない。
- ②本市「地域防災計画」において、指定避難所外避難者への配慮として、食料等の必要物資の配布、保健師等による巡回相談の提供を定めている。
また、防災行政無線や市ホームページ、市公式ライン等情報伝達の整備も検討していきたい。

4. 再生可能エネルギーの条例制定について

質問

- ①再生可能エネルギーに関する市条例制定について
ゼロカーボンシティ達成に向け太陽光発電事業は重要事業のひとつであるが、環境、景観等様々な面において問題が発生している。行政と地域と事業者が共生した事業となるよう条例の制定を検討してはどうか？

答弁(産業文化部長)

- ①新たに国が定めた「説明会及び事前周知措置実施ガイドライン」や県が策定した「香川県太陽光発電施設の設置等に関するガイドライン」を活用し、引き続き事業を継続していきたい。

もりぼらウオッチング



学校付近の道路整備



【クーリングシェルターとは？】

今年も暑い夏が予想され、既に「熱中症警戒アラート」の運用が始まっています。そして、今年からは更にもう1段階上の「熱中症特別警戒アラート」が加わり、市は市内に「暑さから避難するための冷房が効いた施設(クーリングシェルター)」を設置することが義務づけられました。そして、アラート発令時には施設を開放することが義務化されました。丸亀市においても早く対象施設の指定を求めます。

今年もカメムシの大量発生が心配されています。
ご注意ください！！

